



INAS-FIDサッカー世界選手権日本代表に
～もう一つのW杯～

日立金属株式会社

世界のさまざまな地域で愛されるスポーツといえばサッカー。

今年は 2015 FIFA 女子ワールドカップカナダ 2015 の開催などで盛り上がりを見せています。

サッカーワールドカップには、もう一つのワールドカップと呼ばれる「INAS-FID（知的障がい者スポーツ連盟）サッカー世界選手権」があります。その INAS-FID サッカー世界選手権前回大会に、日立金属グループの川端義久選手（日立電線ファインテック（株））が日本代表として初選出されました。

INAS-FID サッカー世界選手権は 1994 年オランダで初開催以来、FIFA ワールドカップ開催年に同じ開催国で行われ、FIFA と全く同じルールで戦う国際大会です。FIFA ワールドカップが開催された昨年 8 月に INAS-FID サッカー世界選手権がブラジルで開催されました。

日本代表に初選出された川端選手は、攻守を共にこなすミッドフィルダーとして、大会前の強化合宿や大会期間中の決勝トーナメントに向けたゲーム練習に参加、大会期間中の試合出場はなかったものの、日本代表チームの実力向上に貢献しました。日本代表チームはブラジル大会で 4 回目の出場となりましたが、川端選手含め、選手一人ひとりの努力とチームワークで、予選リーグを初めて突破し、ベスト 4 入りという好成績を残すことが出来ました。

川端選手は次回大会での試合出場を目標に、自身の課題の克服と成長に意欲的に取り組んでおり、今後のさらなる活躍が期待されています。



2014 年 7 月 INAS-FID サッカー世界選手権ブラジル大会に向け、日立金属(株)豊浦工場で激励会を実施しました